

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公開番号】特開2019-216716(P2019-216716A)

【公開日】令和1年12月26日(2019.12.26)

【年通号数】公開・登録公報2019-052

【出願番号】特願2019-120643(P2019-120643)

【国際特許分類】

C 1 2 Q	1/6886	(2018.01)
A 6 1 K	31/454	(2006.01)
C 1 2 Q	1/6883	(2018.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
A 6 1 K	31/517	(2006.01)
A 6 1 K	31/5377	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)

【F I】

C 1 2 Q	1/6886	Z
A 6 1 K	31/454	
C 1 2 Q	1/6883	Z
C 1 2 Q	1/02	
A 6 1 K	31/517	
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 K	45/00	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	M

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月13日(2019.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

化合物が抗腫瘍剤として有効であるかどうかを決定する方法であって：

- (a) 第1の細胞を該化合物と接触させること；  
ここで、任意に、該細胞は癌細胞であるか、又は任意に、該細胞は免疫細胞であり；  
(b) 工程(a)の該第1の細胞から第1の試料を得ること、  
(c) 該第1の試料中のバイオマーカのレベルを決定すること；及び  
(d) 工程(c)の該バイオマーカのレベルを参照試料中のバイオマーカのレベルと比較することを含み、ここで、該参照試料中のものと比較したときの該第1の試料中の該バイオマーカレベルの変化が、抗腫瘍剤としての該化合物の効力を示し、  
該バイオマーカがZFP91である、前記方法。

【請求項2】

前記バイオマーカのレベルが、該バイオマーカのRNA又はDNAレベルを決定することにより測定される、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記バイオマーカのレベルが、該バイオマーカのmRNAレベルを決定することにより測定される、請求項2記載の方法。

【請求項4】

前記バイオマーカのレベルが、該バイオマーカのcDNAレベルを決定することにより測定される、請求項2記載の方法。

【請求項5】

前記バイオマーカのレベルが、該バイオマーカのタンパク質レベルを決定することにより測定される、請求項1記載の方法。

【請求項6】

前記第1の試料が、腫瘍生検材料、節生検材料、又は骨髄、脾臓、肝臓、脳、もしくは乳房由来の生検材料から得られる、請求項1～5のいずれか一項記載の方法。

【請求項7】

前記癌が、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項8】

前記癌が、多発性骨髄腫(MM)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項9】

前記癌が、骨髄異形成症候群(MDS)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項10】

前記MDSが、染色体5qの欠失(del(5q))を有するMDSである、請求項9記載の方法。

【請求項11】

前記癌が、急性骨髄性白血病(AML)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項12】

前記癌が、マンツル細胞リンパ腫(MCL)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項13】

前記癌が、濾胞性リンパ腫(FL)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項14】

前記癌が、急性骨髄芽球性白血病(AML)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項15】

前記癌が、慢性リンパ球性白血病(CLL)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項16】

前記癌が、非ホジキンリンパ腫(NHL)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項17】

前記癌が、有毛細胞白血病である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項18】

前記癌が、慢性骨髄性白血病(CML)である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項19】

前記癌が、AIDS関連カポジ肉腫である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項20】

前記癌が、悪性黒色腫である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

【請求項21】

前記化合物が、セレブロン結合化合物である、請求項1～20のいずれか一項記載の方法

。

【請求項22】

前記化合物が、レナリドマイド、ポマリドマイド、サリドマイド、3-(5-アミノ-2-メチル-4-オキソ-4H-キナゾリン-3-イル)-ピペリジン-2,6-ジオン(化合物A)、又は3-(4-((4-(モルホリノメチル)ベンジル)オキシ)-1-オキソイソインドリン-2-イル)ピペリジン-2,6-ジオン(化合物B)、又はその医薬として許容し得る塩、溶媒和物、水和物、共結晶、包摂化合物、もしくは多形である、請求項21記載の方法。

【請求項23】

前記化合物が、レナリドマイド、又はその医薬として許容し得る塩、溶媒和物、水和物、共結晶、包摂化合物、もしくは多形である、請求項22記載の方法。

【請求項24】

前記化合物が、ポマリドマイド、又はその医薬として許容し得る塩、溶媒和物、水和物、共結晶、包摂化合物、もしくは多形である、請求項22記載の方法。

【請求項25】

前記化合物が、サリドマイド、又はその医薬として許容し得る塩、溶媒和物、水和物、共結晶、包摂化合物、もしくは多形である、請求項22記載の方法。

【請求項26】

前記化合物が、化合物A、又はその医薬として許容し得る塩、溶媒和物、水和物、共結晶、包摂化合物、もしくは多形である、請求項22記載の方法。

【請求項27】

前記化合物が、化合物B、又はその医薬として許容し得る塩、溶媒和物、水和物、共結晶、包摂化合物、もしくは多形である、請求項22記載の方法。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	<a href="#">JP2019216716A5</a>	公开(公告)日	2020-02-13
申请号	JP2019120643	申请日	2019-06-28
[标]申请(专利权)人(译)	细胞基因公司		
申请(专利权)人(译)	Celgene公司		
当前申请(专利权)人(译)	Celgene公司		
[标]发明人	マシュウウイリアムブルネルトロテル パトリックハグナー コートニージーハベンス ラジェシュチョプラ アニタガンディー アンケクリベル マリアイイングリンワング マイクブレイダー スザナスターリニコウト ヤンレン ポールホレンバク カイルマクベス		
发明人	マシュウウイリアムブルネルトロテル パトリックハグナー コートニージーハベンス ラジェシュチョプラ アニタガンディー アンケクリベル マリアイイングリンワング マイクブレイダー スザナスターリニコウト ヤンレン ポールホレンバク カイルマクベス		
IPC分类号	C12Q1/6886 A61K31/454 C12Q1/6883 C12Q1/02 A61K31/517 A61K31/5377 A61P1/16 A61P25/00 A61P35/00 A61P35/02 A61K45/00 G01N33/15 G01N33/50 G01N33/53		
CPC分类号	A61K31/454 A61K31/517 A61K31/5377 A61K38/21 A61P1/16 A61P25/00 C12Y207/11001 G01N33 /6863 C12Q1/6886 C12Q2600/136 G01N33/5011 G01N33/57426 G01N33/5743 G01N33/57484 G01N33/58 G01N2333/70596 G01N2800/50 G01N2800/52 C12Q1/6883 C12Q2600/106 C12Q2600 /118 C12Q2600/158 G01N33/57407 G01N33/57492 G01N33/6866 G01N2333/4703 G01N2333/4704 G01N2333/555 G01N2333/91205 G01N2800/24 G01N2800/26 G01N2800/285		
FI分类号	C12Q1/6886.Z A61K31/454 C12Q1/6883.Z C12Q1/02 A61K31/517 A61K31/5377 A61P1/16 A61P25 /00 A61P35/00 A61P35/02 A61K45/00 G01N33/15.Z G01N33/50.Z G01N33/53.D G01N33/53.M		
F-TERM分类号	2G045/AA40 2G045/CA18 2G045/CA19 2G045/CA20 2G045/CA21 2G045/CB01 2G045/CB02 2G045 /DA14 2G045/DA36 2G045/FB01 2G045/FB02 2G045/FB03 4B063/QA01 4B063/QA19 4B063/QQ02 4B063/QQ08 4B063/QQ43 4B063/QQ53 4B063/QQ79 4B063/QR32 4B063/QR36 4B063/QR55 4B063 /QR62 4B063/QR77 4B063/QS25 4B063/QS36 4B063/QX01 4C084/AA17 4C084/NA14 4C084/ZA022		

4C084/ZA752 4C084/ZB262 4C084/ZB272 4C086/AA01 4C086/AA02 4C086/BC22 4C086/BC46 4C086/BC73 4C086/GA07 4C086/GA12 4C086/MA01 4C086/MA04 4C086/NA14 4C086/ZA02 4C086/ZA75 4C086/ZB26 4C086/ZB27

---

代理人(译)

石川彻

---

优先权

61/947963 2014-03-04 US  
61/990621 2014-05-08 US  
61/913003 2013-12-06 US  
62/061050 2014-10-07 US  
62/077835 2014-11-10 US  
62/064413 2014-10-15 US  
62/087111 2014-12-03 US

---

其他公开文献

JP2019216716A

---

摘要(译)

提供了一种确定化合物是否具有免疫调节性的方法。该方法包括：

(a) 使第一细胞与目的化合物接触；其中，任选地，该细胞是癌细胞，或任选地，该细胞是免疫细胞；从步骤(a)的第一细胞获得第一样品；(c) 确定第一样品中的生物标志物的水平；和(d) 步骤(c)的生物标志物。将生物标志物的水平与从参考样品获得的相同蛋白质的水平进行比较，其中当与参考样品相比时生物标志物的水平变化表明该化合物作为免疫调节化合物的效力。怎么 [选择图]图1A